

# わが家のアイドル



あさみ ゆうと  
**浅見 悠斗**くん  
「ごはんだ〜い好き月」  
(日野田町)



さかた あおい  
**坂田 葵**ちゃん  
「いちご大好き!!」  
(荒川日野)



みた ひなと  
**森田 陽斗**くん  
「いっぱい遊んで  
大きくなってね!」  
(大野原)



なかの ゆな  
**中野 結心**ちゃん  
「癒し担当です♡」  
(上影森)

1〜1歳半程度の市内在住のお子さんの写真を同封し、住所・保護者の氏名・電話番号・お子さんの氏名(ふりがな)・性別・生年月日・コメントを明記の上、秘書広報課までご応募ください。(メールの場合は、件名に「わが家のアイドル」、本文に必要事項を入力し、500KB以上の画像を添付の上、hisyo@city.chichibu.lg.jp まで。)抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。

夢をかなえる 未来にはばたく

## 秩父地域の高校

### 「福祉を学ぶ生徒の活躍」

#### 小鹿野高等学校

小鹿野高等学校は、福祉を学ぶことのできる秩父地域唯一の学校です。8月3日に、福祉・生活系列の生徒が、埼玉県高等学校福祉教育研究会主催の「埼玉県介護福祉研究発表会」に出場しました。発表内容は、課題事例に対して、対象者の自立生活を支援するための支援方法などをあらかじめ研究し、10分間で発表するというものです。本校2年次から学んだ福祉に関する知識や技能を生かし、的確な支援方法の発表を行い、最優秀賞を受賞して全国大会の出場権を獲得しました。8月31日には、県予選会を通過した関東地区の学校が出場する関東地区福祉高等学校長会主催の「関東地区高校生福祉研究発表会」に出場し、審査員長賞および審査員賞を受賞しました。

本校で福祉を学んだ生徒は、大学等の上級学校に進学するほか、即戦力として事業所に就職します。今後も、秩父地域の福祉を支えるスペシャリストを輩出できるよう、取り組んでいきます。



小鹿野高等学校



## 市民文芸

### 短歌

藁を打つ草履を作る音貧し家中貧し藁の音貧し  
終戦時父の遺影を母と見つ辛苦の暮らしと戦地を偲ぶ  
長女なる歳の離れた姉なれど八十路越えても案ずる電話  
火屋みかき油を注ぎて客室にランプ配りし遠き夏の日  
孫 曾孫 お祝物がどっさりと米寿の吾に長生きしてねと  
おばあちゃんみてみて見てと幼子の人差し指に赤蜻蛉いて  
コロナ禍で会えないうちに友たちは杖をついたり補聴器つける  
ごく自然に済んだまだかねの挨拶はワクチン接種の有無を確かむ  
コロナ禍に行楽の旅も自粛せり「聞く耳持たぬ」人も居るのに  
秋彼岸父母の墓前に手を合わす有りし日偲び心温もる

〔評〕新井さん、父の戦死により母子家庭になり、草履作りで一家を支えた様子を「貧し」の繰り返しで的確に表現しています。長瀬さん、同様の体験をなさったのでしょうか。頭が下がります。石橋さん、やさしいお姉様なのですね。黒沢さん、懐かしさを感じさせる一首です。加藤さん、私も嬉しくなる作品です。江原さん、童話の世界の一コマのような一首です。引間さん、新型コロナウイルスの影響が種々の所で表れていることが分かります。渡辺さん、一時は、予約するのが大変でした。濱田さん、自粛の積み重ねが感染者の減少をもたらしたのでしよう。町田さん、下の句がとてもいいですね。どうぞ、長生きしてくださいませよう。

※次回12月号は俳句を掲載します

### 綾部 光芳 選

中宮地町	新井 啓一
日野田町	長瀬 正男
久那	石橋その子
中宮地町	黒沢知喜雄
日野田町	加藤しげ子
大畑町	江原 初恵
東町	引間美恵子
宮側町	渡辺 勝美
上町	濱田 秀典
下宮地町	町田 要子

短歌、俳句の応募は、住所・お名前(ふりがな)を明記の上、必ず通常はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2首または2句まで、各1通までです。

短歌 11月18日(休)締切→1月号に掲載  
俳句 12月末締切→2月号に掲載